

一人で悩み抱えないで

自ら死を選ぶ若者を減らすと、県内の自死遺族でつくるアルメリアの会が、高校生向けの小冊子を作成した。この冊子は「たった一つのかげがえのない命」「ひとりじゃない」といったメッセージを、ウサギのキャラクターを使って漫画風に紹介している。



若い命 失わせぬ

県内自死遺族会
高校生へ配布小冊子作成
「つらさ 誰かに話して」
 福井で発送準備

県内自死遺族会が、県内の高校生に配布する小冊子「つらさ 誰かに話して」の発送準備が、福井市で進められている。小冊子は、ウサギのキャラクターを使って漫画風に、自死の危険性や悩みを解決する方法などを紹介している。小冊子の配布は、県内の高校に配布する予定で、今年度は約10万冊を配布する予定とされている。

おおたに
大谷 ころろさん (武生六中3年)

原因には、学校やSNS上でのいじめやトラブル、慣れない環境でのストレスなどがあると思う。悩みを誰かに話すことは、とても勇気がいると思う。その悩みが大きいほど、一人で抱え込みがちになる。そんな若者たちに、悩みを解決するきっかけをつくるこの冊子は、自殺を考える若者を救う手だての一つになると思った。若者に悩みはつきものだ。私自身も、人間関係や進路についてなどさまざまな悩みを持ち、それを家族や先生、友人に相談することで解決してきた。一人で悩んでいても何も解決しない。この冊子が、今悩んでいる若者たちの「心の支え」になってほしいと思う。